

CYBERNET

証券コード4312

サイバネットシステム株式会社

2022年12月期決算補足資料

2023年2月9日



1

2022年12月期決算説明と2023年12月期予想

2

参考資料

外部環境認識と当社2022年12月期業績への影響

外部環境認識

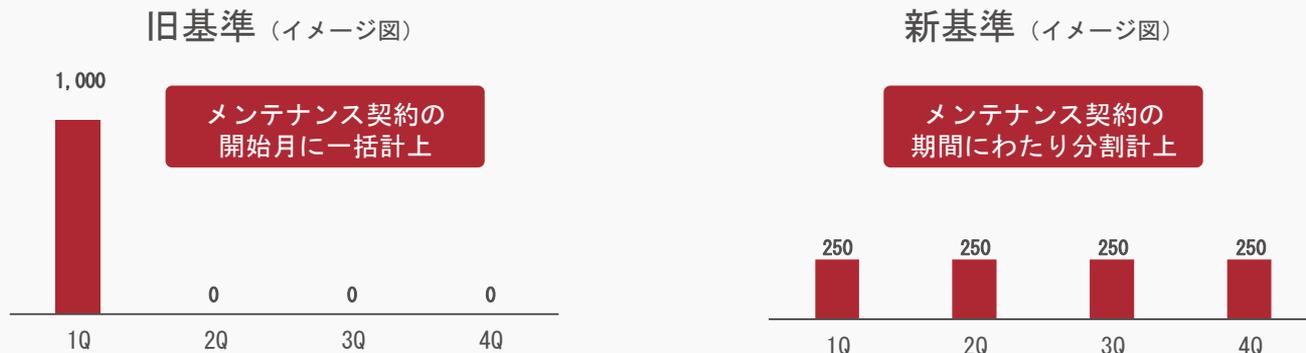
- ロシア・ウクライナ情勢の長期化に伴う資源価格の高騰やエネルギー不足の深刻化、インフレ率の上昇
- サプライチェーンの混乱等に伴う半導体等の部品や素材不足
- 中国のゼロコロナ政策と、突然の政策中止による感染者数の爆発的増加
- 上記を背景とした世界経済の失速と不透明感
- 働き方改革、企業の競争優位性確保を目的としたDX、カーボンニュートラルの実現を目的としたGXの推進

当社2022年12月期業績への影響

- 世界経済の不透明感を背景に、欧米、アジア等で案件の延伸等が発生
- お客様のDX促進を支援するエンジニアリングサービスが拡大
- 新しい働き方の定着・浸透に伴い、セキュリティソリューションの販売が好調に推移

「収益認識に関する会計基準」等の適用について

- 第1四半期連結会計期間の期首から、「収益認識に関する会計基準」（企業会計基準第29号 2020年3月31日。以下「収益認識会計基準」という。）等を適用。
- これにより、代理店事業のソフトウェアのメンテナンスサービス（新規契約のうちの一部、及び、更新契約の全額）については、従来、主として契約開始時点で収益を認識していましたが、契約期間にわたり収益を認識する処理に変更。
- 収益認識会計基準等の経過措置を適用し、過年度の遡及修正は行っていないため、本資料における財務数値の前期比および前期差は参考値（一部、個別の売上高は遡及修正した数値を開示）。



サマリー

1

2022年12月期の決算・業績

総括コメント

- Synopsys社との販売代理店契約終了の影響により減収減益。
- 主力製品であるマルチフィジックス解析ツールやエンジニアリングサービス、セキュリティ製品の販売が好調に推移し、売上高は19,936百万円と概ね計画通り。
- 親会社株主に帰属する当期純利益は999百万円（-13.1%）、EBITDAは2,014百万円（-4.1%）と計画未達。

2

2023年12月期の業績予想

総括コメント

- 売上高は、中期経営計画に掲げる「自社開発製品の強化」、「アジア事業の拡大」、「ものづくりのDX促進」などを推進し、前期比10.4%増の22,000百万円を目指す。
- 長期の企業価値向上のため、人財、システムへの投資を実施。
- 安定配当を重要視し、年間配当金は29円/株を予定。

2022年12月期の業績

- 売上高は主力製品であるマルチフィジックス解析ツールなどが堅調に推移したものの、Synopsys社との販売代理店契約終了の影響により前期比減収。
- 営業利益は、売上高の減少の影響により減益。

単位：百万円

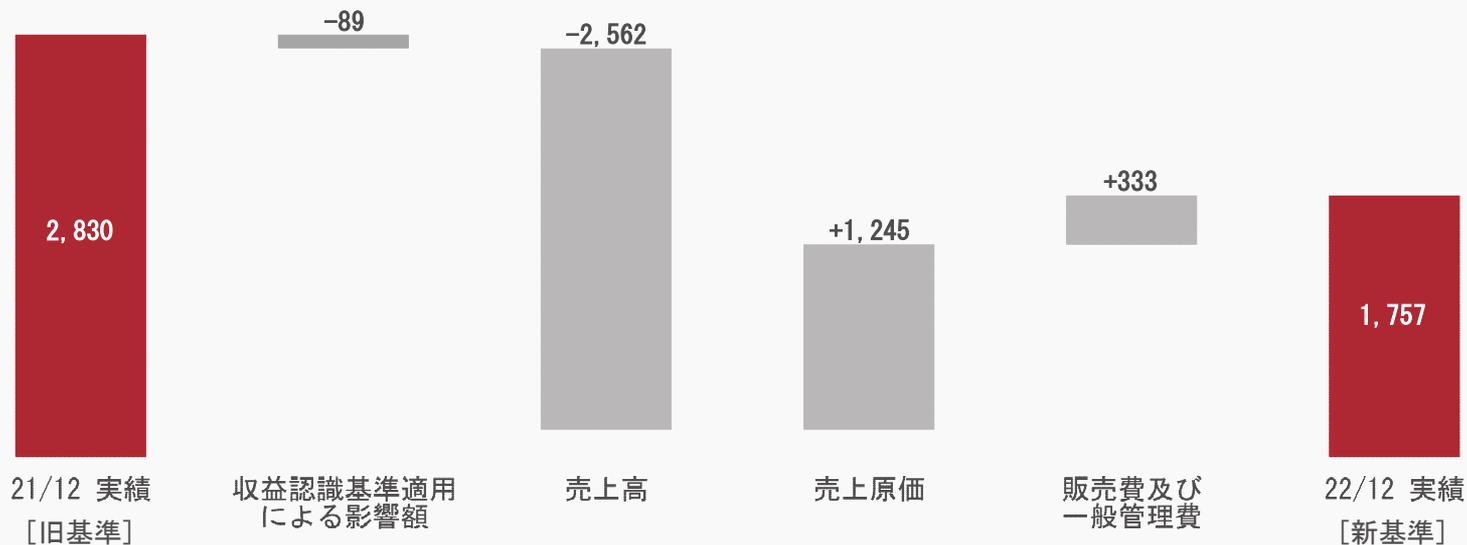
	21/12期 [旧基準]	22/12期 [新基準]	前期比	22/12期 計画 [新基準]	計画比
売上高	22,697	19,936	-12.2%	20,000	-0.3%
売上総利益	9,528	8,122	-14.8%	-	-
販売費および 一般管理費	6,698	6,364	-5.0%	-	-
営業利益	2,830	1,757	-37.9%	1,800	-2.3%
(営業利益率)	12.5%	8.8%	-	9.0%	-
経常利益	2,822	1,693	-40.0%	1,800	-5.9%
親会社株主に帰属する 当期純利益	1,786	999	-44.0%	1,150	-13.1%
EBITDA	3,072	2,014	-34.4%	2,100	-4.1%
(EBITDAマージン)	13.5%	10.1%	-	10.5%	-
EPS (円)	57.29	32.31	-	36.87	-

※ EBITDA: 営業利益 + 減価償却費

※ 収益認識会計基準等の経過措置を適用（参照P.4）し、過年度の遡及修正は行っていないため、前期比は参考値。

営業利益の増減要因（前期差）

- 販売費及び一般管理費は前期比で減少も、売上高の減少により、減益。



※ 収益認識会計基準等の経過措置を適用（参照P.4）し、過年度の遡及修正は行っていないため、前期差は参考値。

単位：百万円

収益認識会計基準等の影響

単位：百万円

	影響額				22/12期 4Q [新基準]	影響額				22/12期 [新基準]
	22/12期 4Q [旧基準]	シミュレ- ション	IT	合計		22/12期 [旧基準]	シミュレ- ション	IT	合計	
売上高	5,146	+365	+18	+384	5,530	20,134	-170	-27	-198	19,936
売上原価	3,136	+151	+18	+170	3,306	11,922	-76	-32	-109	11,813
売上総利益	2,009	+213	+0	+214	2,223	8,211	-93	+4	-89	8,122
販売費および 一般管理費	1,660	-	-	-	1,660	6,364	-	-	-	6,364
営業利益	348	+213	+0	+214	562	1,846	-93	+4	-89	1,757

※ シミュレーション：シミュレーションソリューションサービス事業

※ IT：ITソリューションサービス事業

セグメント別売上高・営業利益の状況

単位：百万円

シミュレーションセグメント

- 主力製品の保守契約の更新、CAE、AI、AR関連のエンジニアリングサービスなどが好調に推移するも、Synopsys社との販売代理店契約が終了した影響により減収減益。

ITセグメント

- 次世代型エンドポイントセキュリティの販売やクラウド環境向けセキュリティソリューションの販売が好調に推移したこと等により増収。円安による原価率の上昇により減益。

※ シミュレーション：シミュレーションソリューションサービス事業

※ IT：ITソリューションサービス事業

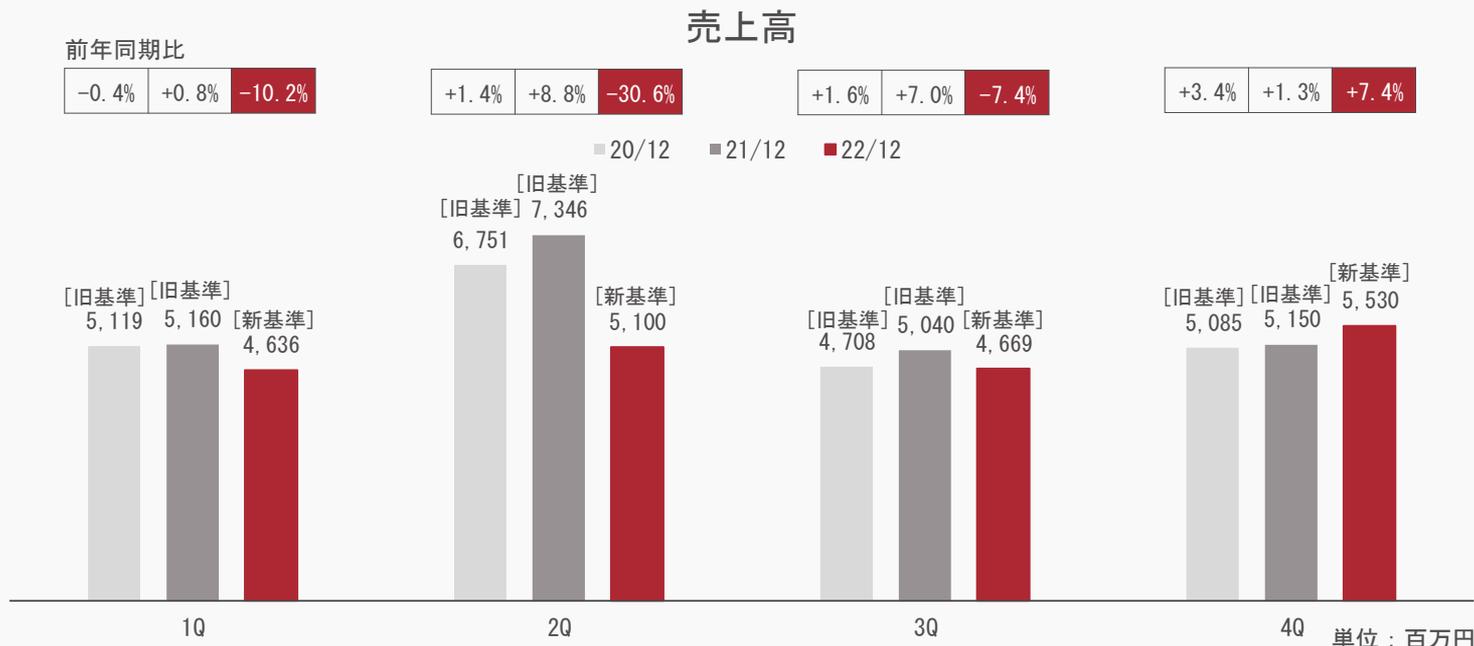
※ 収益認識会計基準等の経過措置を適用（参照P.4）し、過年度の遡及修正は行っていないため、前期比は参考値。

※ 第1四半期から、報告セグメントの名称について、「CAEソリューションサービス事業」は「シミュレーションソリューションサービス事業」へ変更。また、セグメントの区分を変更し、前年同期の実績は変更後のセグメント区分により記載。

	21/12期 [旧基準]	22/12期 [新基準]	前期比
売上高	22,697	19,936	-12.2%
シミュレーション	18,685	15,784	-15.5%
IT	4,012	4,152	+3.5%
調整額	-	-0	-
営業利益	2,830	1,757	-37.9%
シミュレーション	4,078	2,628	-35.6%
IT	572	525	-8.3%
調整額	-1,820	-1,395	-

売上高の四半期推移

■ 第4四半期は、収益認識会計基準等の適用の影響などにより前年同期比+7.4%。



※ 収益認識会計基準等の経過措置を適用（参照P.4）し、過年度の遡及修正は行っていないため、前期比は参考値、前期値および前々期値は旧基準。

バランスシートの状況

- 金融資産は661百万円減少、純資産は982百万円減少、自己資本比率は60.3%。
- 親会社への貸付金（親会社のCMS（キャッシュ・マネジメント・システム））の回収により、短期貸付金は3,579百万円減少。
- 収益認識会計基準等の適用に伴い、株主資本に含まれる利益剰余金の期首残高が911百万円減少。

※ 金融資産：現金及び預金、有価証券、短期貸付金の合計

単位：百万円

	21/12末 [旧基準]	22/12末 [新基準]	前期末差
流動資産	21,526	22,231	+705
金融資産(※)	16,009	15,348	-661
現金及び預金	7,429	8,348	+918
有価証券	5,000	7,000	+2,000
短期貸付金	3,579	-	-3,579
固定資産	1,744	1,924	+179
資産合計	23,270	24,155	+884
負債合計	7,538	9,405	+1,867
流動負債	6,472	8,359	+1,887
固定負債	1,065	1,046	-19
純資産合計	15,732	14,749	-982
株主資本	15,287	14,212	-1,075
負債純資産合計	23,270	24,155	+884
自己資本比率	66.3%	60.3%	-6.0pt

キャッシュ・フローの状況

営業活動によるCF

- 税金等調整前四半期純利益の減少等により前期比マイナス。

投資活動によるCF

- 貸付金の回収による収入の増加により前期比プラス。

財務活動によるCF

- 自己株式の取得による支出の増加、配当金の増加等により前期比マイナス。

単位：百万円

	21/12期	22/12期	前期差
営業キャッシュ・フロー	2,006	773	-1,233
投資キャッシュ・フロー	628	654	+25
財務キャッシュ・フロー	-872	-1,321	-448
現金・現金同等物の期末残高	12,339	12,750	+410

セグメント別形態別売上高

単位：百万円

	21/12期 4Q		22/12期 4Q		前期比	21/12期		22/12期		前期比
	実績 [旧基準]	構成比	実績 [新基準]	構成比		実績 [旧基準]	構成比	実績 [新基準]	構成比	
売上高	5,150	100.0%	5,530	100.0%	+7.4%	22,697	100.0%	19,936	100.0%	-12.2%
シミュレーション	4,002	77.7%	4,447	80.4%	+11.1%	18,685	82.3%	15,784	79.2%	-15.5%
代理店	2,531	49.2%	2,886	52.2%	+14.0%	13,733	60.5%	10,380	52.1%	-24.4%
自社開発製品	894	17.4%	969	17.5%	+8.4%	3,250	14.3%	3,512	17.6%	+8.1%
サービス	576	11.2%	591	10.7%	+2.7%	1,701	7.5%	1,891	9.5%	+11.1%
IT	1,147	22.3%	1,083	19.6%	-5.6%	4,012	17.7%	4,152	20.8%	+3.5%
代理店	983	19.1%	880	15.9%	-10.5%	3,478	15.3%	3,548	17.8%	+2.0%
自社開発製品	83	1.6%	89	1.6%	+7.8%	329	1.5%	343	1.7%	+4.3%
サービス	81	1.6%	113	2.1%	+40.4%	204	0.9%	259	1.3%	+26.8%

※ 収益認識会計基準等の経過措置を適用（参照P.4）し、過年度の遡及修正は行っていないため、前期比は参考値。

※ 第1四半期から、報告セグメントの名称について、「CAEソリューションサービス事業」は「シミュレーションソリューションサービス事業」へ変更。また、セグメントの区分を変更し、前年同期の実績は変更後のセグメント区分により記載。

形態別売上高

単位：百万円

	21/12期 4Q		22/12期 4Q		前期比	21/12期		22/12期		前期比
	実績 [旧基準]	構成比	実績 [新基準]	構成比		実績 [旧基準]	構成比	実績 [新基準]	構成比	
代理店	3,515	68.3%	3,766	68.1%	+7.1%	17,211	75.8%	13,929	69.9%	-19.1%
自社開発製品	977	19.0%	1,058	19.1%	+8.3%	3,580	15.8%	3,856	19.3%	+7.7%
サービス	657	12.8%	705	12.8%	+7.4%	1,906	8.4%	2,150	10.8%	+12.8%
合計	5,150	100.0%	5,530	100.0%	+7.4%	22,697	100.0%	19,936	100.0%	-12.2%

※ 収益認識会計基準等の経過措置を適用（参照P. 4）し、過年度の遡及修正は行っていないため、前期比は参考値。

※ 一部販売形態を見直したため、前年同期の実績は組替後の金額を適用。

地域別売上高

単位：百万円

	21/12期 4Q		22/12期 4Q		前期比	21/12期		22/12期		前期比
	実績 [旧基準]	構成比	実績 [新基準]	構成比		実績 [旧基準]	構成比	実績 [新基準]	構成比	
日本	3,737	72.6%	4,090	74.0%	+9.4%	17,403	76.7%	15,242	76.5%	-12.4%
アジア	817	15.9%	758	13.7%	-7.2%	3,111	13.7%	2,153	10.8%	-30.8%
北米	363	7.1%	412	7.5%	+13.3%	1,381	6.1%	1,691	8.5%	+22.5%
欧州	216	4.2%	258	4.7%	+19.3%	741	3.3%	798	4.0%	+7.6%
その他	14	0.3%	11	0.2%	-23.8%	59	0.3%	51	0.3%	-12.9%
合計	5,150	100.0%	5,530	100.0%	+7.4%	22,697	100.0%	19,936	100.0%	-12.2%

※ 収益認識会計基準等の経過措置を適用（参照P.4）し、過年度の遡及修正は行っていないため、前期比は参考値。

[個別]業種別売上高

単位：百万円

	21/12期 4Q		22/12期 4Q		前期比	21/12期		22/12期		前期比
	実績 [新基準]	構成比	実績 [新基準]	構成比		実績 [新基準]	構成比	実績 [新基準]	構成比	
電気機器	929	25.0%	947	23.3%	+2.0%	4,493	26.7%	3,426	22.7%	-23.8%
機械・精密機器	508	13.7%	723	17.8%	+42.2%	2,797	16.6%	2,416	16.0%	-13.6%
輸送用機器	464	12.5%	436	10.7%	-6.0%	2,014	12.0%	1,832	12.1%	-9.0%
その他製造業	684	18.4%	604	14.9%	-11.7%	2,744	16.3%	2,571	17.0%	-6.3%
教育・官公庁	247	6.7%	453	11.1%	+83.2%	1,126	6.7%	1,391	9.2%	+23.4%
情報・通信	179	4.8%	227	5.6%	+26.8%	964	5.7%	869	5.8%	-9.8%
その他	695	18.8%	673	16.6%	-3.2%	2,695	16.0%	2,617	17.3%	-2.9%
合計	3,709	100.0%	4,066	100.0%	+9.6%	16,837	100.0%	15,124	100.0%	-10.2%

※ 前年同期の実績は、収益認識会計基準で算出した、実績を比較するための参考情報。

※ 一部顧客業種を見直したため、前年同期の実績は組替後の金額を適用。

[個別] 契約形態別売上高

単位：百万円

	21/12期 4Q		22/12期 4Q		前期比	21/12期		22/12期		前期比
	実績 [新基準]	構成比	実績 [新基準]	構成比		実績 [新基準]	構成比	実績 [新基準]	構成比	
ライセンス形態	3,014	100.0%	3,247	100.0%	+7.7%	14,333	100.0%	12,637	100.0%	-11.8%
新規契約	1,017	33.7%	963	29.7%	-5.3%	4,249	29.6%	3,821	30.2%	-10.1%
更新契約	1,997	66.3%	2,283	70.3%	+14.3%	10,083	70.4%	8,816	69.8%	-12.6%
ライセンス形態以外	694		819		+17.9%	2,503		2,487		-0.7%
合計	3,709		4,066		+9.6%	16,837		15,124		-10.2%

※ 前年同期の実績は、収益認識会計基準で算出した、実績を比較するための参考情報。

2023年12月期 業績予想

- 売上高は、中期経営計画に掲げる「自社開発製品の強化」、「アジア事業の拡大」などを推進し、前期比10.4%増の22,000百万円を目指す。

単位：百万円

	22/12期 実績 [新基準]	23/12期 予想 [新基準]	前期比
売上高	19,936	22,000	+10.4%
営業利益	1,757	1,850	+5.2%
(営業利益率)	8.8%	8.4%	-
経常利益	1,693	1,850	+9.2%
親会社株主に帰属する当期純利益	999	1,050	+5.0%
EBITDA	2,014	2,170	+7.7%
(EBITDAマージン)	10.1%	9.9%	-
EPS (円)	32.31	33.99	+5.0%
ROE	6.7%	7.2%	-

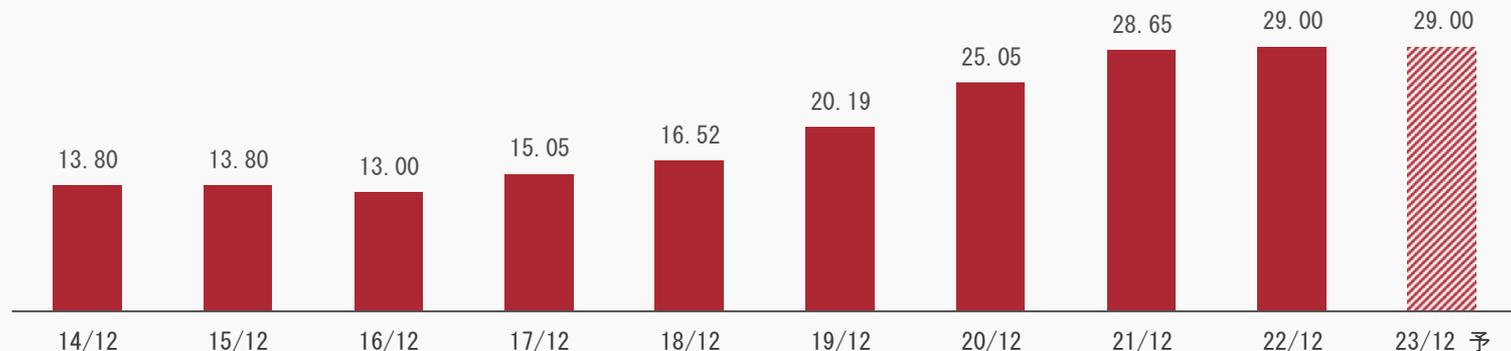
※ EBITDA：営業利益 + 減価償却費

2023年12月期 配当予想

■ 1株当たり29.00円の配当を予定。

株主還元に関する基本方針：株主の皆様に対する利益還元を経営上の重要課題と位置付け、財務の健全性を維持しながら、資本効率を高める。配当は、当面の間、安定配当と継続的な増配を重要視し、「親会社株主に帰属する当期純利益」の範囲を原則として、純資産（自己資本）配当率（DOE）6.0%を配当金額の目安とする。

配当額



単位：円

1

2022年12月期決算説明と2023年12月期予想

2

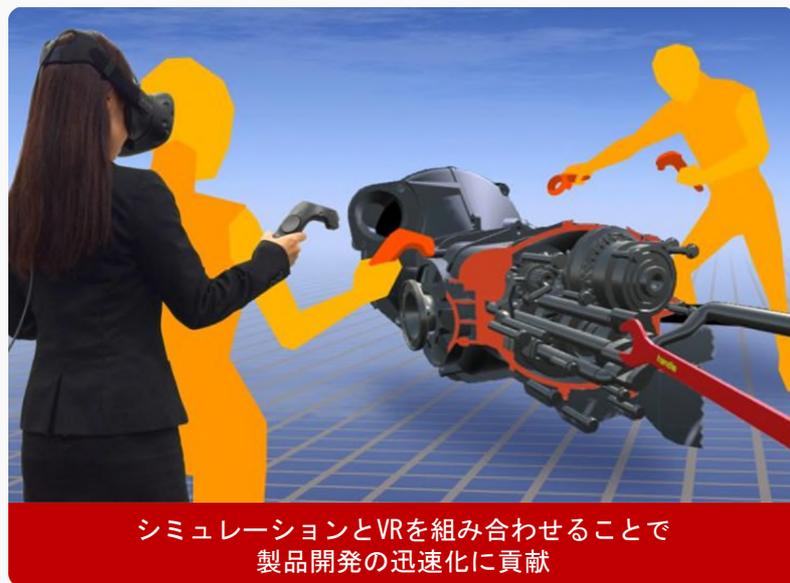
参考資料

会社概要

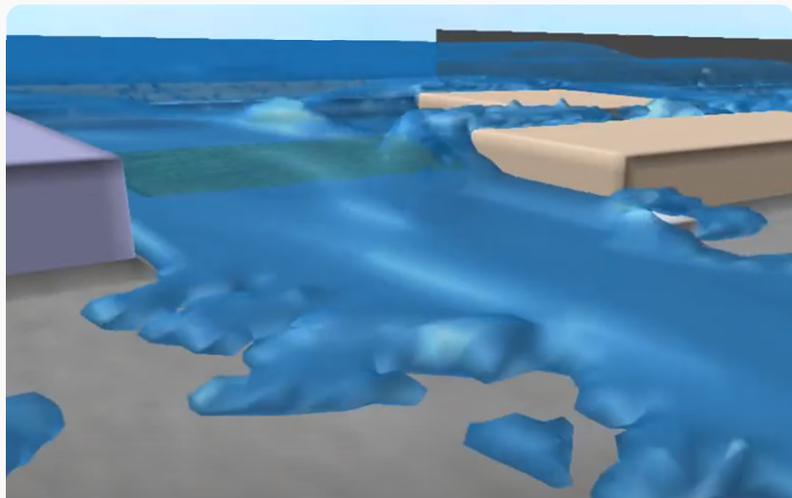
名称	サイバネットシステム株式会社（東証スタンダード市場 4312） Cybernet Systems Co., Ltd.
本社	東京都千代田区神田練堀町3番地 富士ソフトビル
拠点	西日本支社（大阪）、中部支社（名古屋）
設立	1985年4月17日
資本金	995百万円
代表者	代表取締役 安江 令子
社員数	571名（連結）、335名（単体）（2022年12月31日現在）
事業内容	CAE、MBSE/MBD、プラットフォーム、IoT/XR、サイバーセキュリティ分野のソフトウェア、サービス（技術サポート、コンサルティング、導入支援セミナー、CAE総合教育等）等の提供
開発元提携先	Ansys社、Broadcom社など米国中心に35社以上
連結子会社	<p>【国内子会社】</p> <ul style="list-style-type: none">サイバネットMBS E株式会社 <p>【開発子会社】</p> <ul style="list-style-type: none">Sigmatix, LLC（米国）Maplesoft（カナダ）Noesis Solutions NV（ベルギー） <p>【販売子会社】</p> <ul style="list-style-type: none">莎益博工程系統開発（上海）有限公司（中国）思渤科技股份有限公司（台湾）CYBERNET SYSTEMS MALAYSIA SDN. BHD.（マレーシア）

当社はシミュレーションのリーディングカンパニーを目指します。

当社のシミュレーション技術は、**モノづくりの開発・設計工程**において、コンピュータ上で数値シミュレーションを行い、製品の性能や信頼を予測することで、**試作回数の削減、開発スピードの短縮、コストダウン、イノベーション**に貢献しています。**モノづくりに限らず**、サステナビリティ等の社会課題の解決においても、シミュレーション技術が不可欠であり、活躍の場を広げています。



様々な領域でシミュレーションが活用されています。



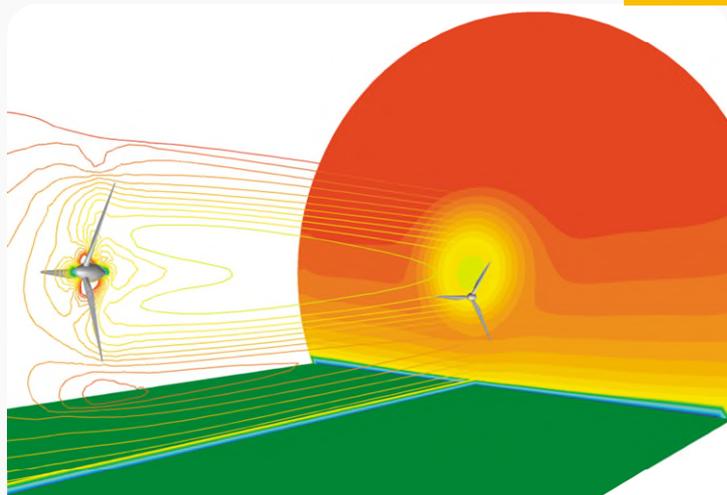
津波のシミュレーション結果を可視化し、
災害の影響を再現



ドローンの振動およびブレード形状の最適な設計に貢献

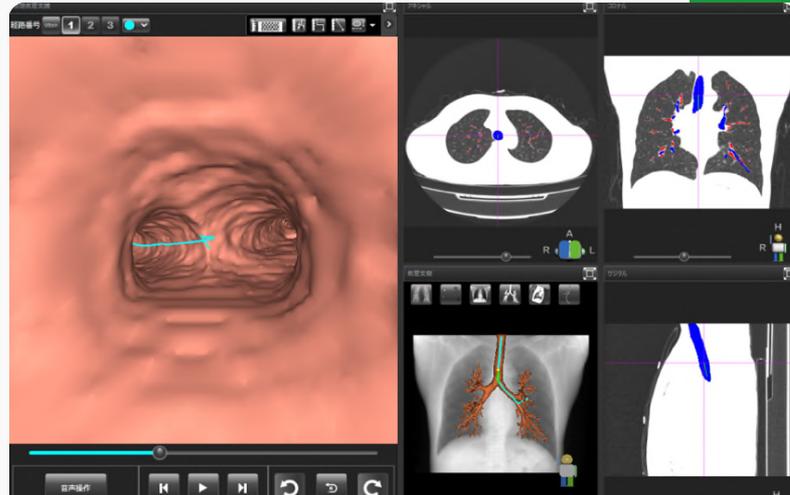
シミュレーションはサステナビリティの実現には不可欠な技術です。

7 エネルギー効率を
もってタービンに



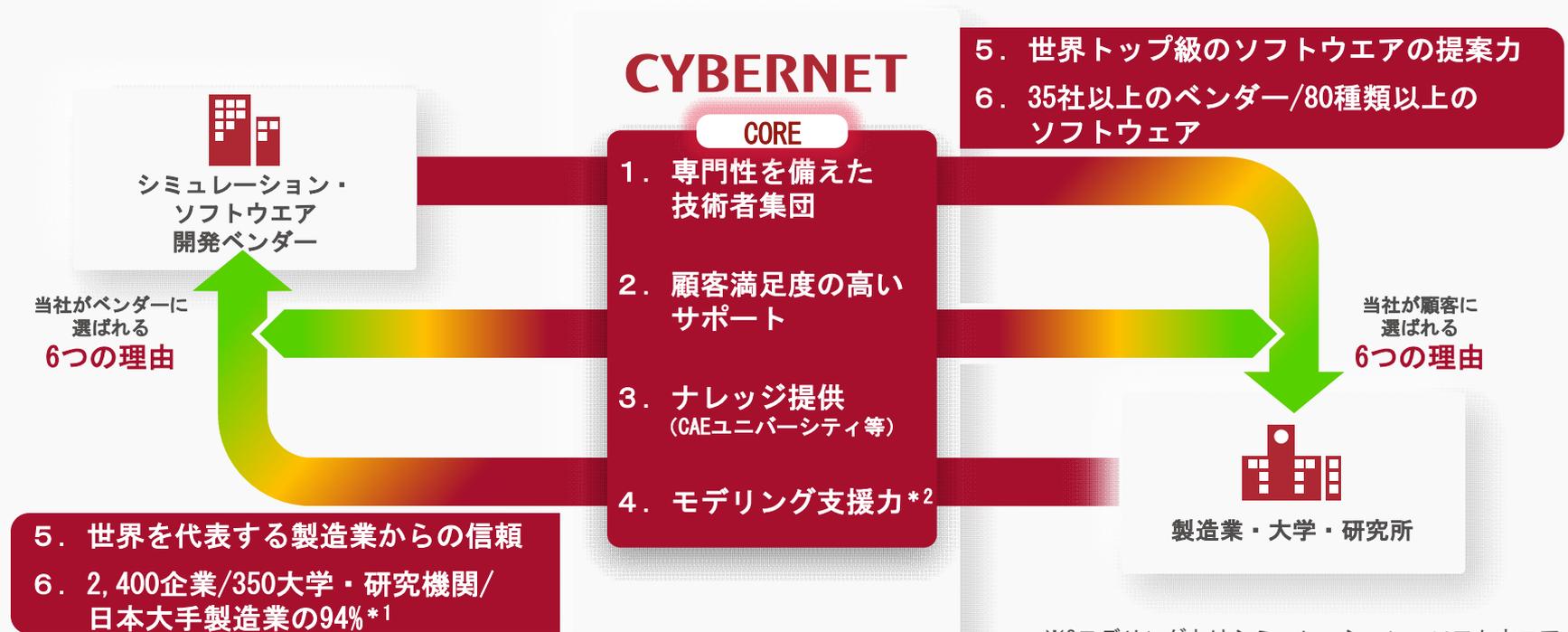
風力発電装置の発電効率、安全性向上に貢献

3 すべての人に
健康と福祉を



内視鏡検査結果をリアルタイムに合成表示することで
医師の診断を支援

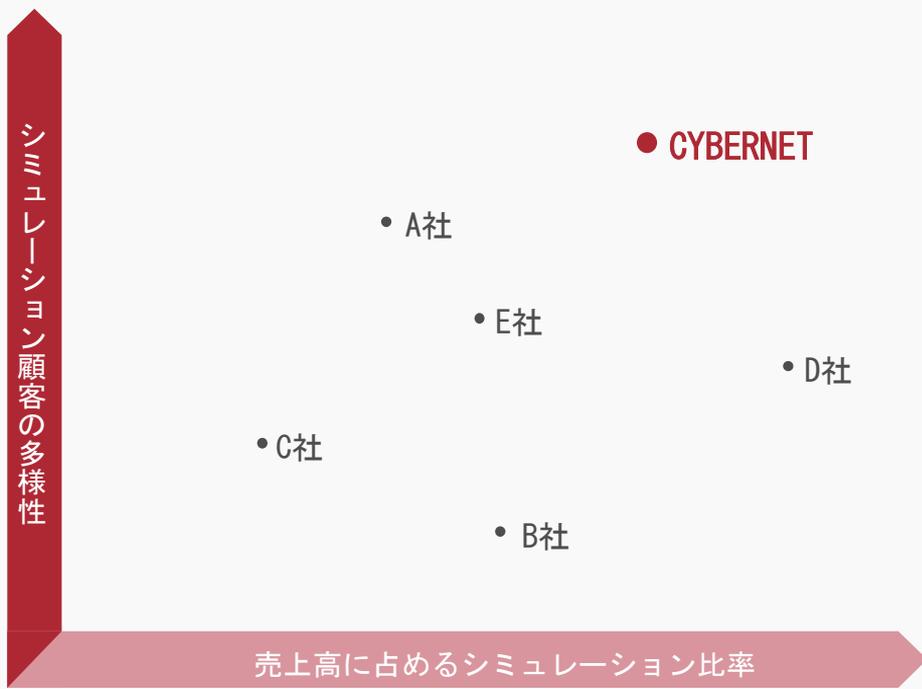
技術力、サポート力、ナレッジ提供力、モデリング支援力等が当社の競争力の源泉です。



※1食品・非製造業を除く上場企業の売上上位100社について過去3年の実績 (2022年3月現在)

※2モデリングとはシミュレーション・ソフトウェアを活用して、物理法則等にしたい物理現象等のシミュレーションモデルを構築、解析することです。経験豊富なエンジニアによる支援が不可欠です。

シミュレーションへの専門度の高さ、広い顧客領域が当社の特長です。



※ 各社IR資料をもとに当社作成

サイバネットシステムの特長

- 高い専門性技術を備え、幅広いシミュレーション領域をカバー。
- 約2,400企業&350大学・研究機関のユーザーに提供。
- これまではモノづくり向けにシミュレーションを提供してきたが、モノづくり以外の分野向けにも注力。

数字で見るサイバネット

① 豊富な実績 高い信頼

日本での
実績 **37**年

米国スーパーコンピューター会社の東京拠点が原点。一貫して製造業の開発・設計シミュレーションを支援。

② シミュレーションの リーダー

機械系
CAE市場 国内 **1**位

日本市場での機械系CAEソフトウェア販売1位。

③ 技術に強い人財

エンジニア
比率 **45**%

グループ社員の45%がエンジニア。
コンピューター知識と工学知識、経験が強み。

④ 積極的なナレッジ提供 CAEユニバーシティ開催¹

110回/年

他社にはない当社独自の取り組み。シミュレーションの実務者に質量ともに圧倒的な学びの場を提供。

⑤ 最強のCAE製品開発 ベンダーと良好な関係

当社が取扱う
ANSYS社のCAE製品 世界 **1**位

ANSYS社はCAE製品世界シェア約38%のトップ企業。同社の最高レベルパートナーに8年連続で認定。

⑥ 強固な財務体質

ネット金融
資産² **153**億円

強い財務体質により、成長投資と株主還元の両立が可能。

⑦ 安定かつ高い株主還元

DOE（自己資本配当率）

6%

DOEを6.0%とし、中長期の増配を目指す。

※ 2022年12月31日現在

¹ 当社で開催しているCAEのセミナー。

² 現預金＋有価証券＋短貸付金－有利子負債

ビジョン、ミッション

VISION

ビジョン

(将来のありたき姿 (存在意義))

技術とアイデアで、社会に
サステナビリティとサプライズを。

MISSION

ミッション

(ビジョンに向けて、現在の事業を通じて果たす役割)

想像を超える、創造力で、
課題のブレークスルーを導く。

IR室

〒101-0022 東京都千代田区神田練塀町3番地

E-MAIL

irquery@cybernet.co.jp

Webサイト

<https://www.cybernet.co.jp/>

本資料は、投資家の投資の参考となる情報のみを目的としており、取引の勧誘を目的としておりません。
本資料は、当社業務によって得られた各種データに基づいて作成したのですが、その安全性を保証するものではありません。
また、資料に記載された意見や予測は資料作成時の当社の見通しであり、当該意見、予測等を使用した結果についてもなんら保証するものではありません。
記載された内容が予告なしで変更することもありますのでご注意ください。
投資に関する最終決定は、投資家ご自身の判断でなされるようお願いいたします。